

平成23年第1回定例会

一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
3 月 15 日	1	近内 光英	無 所 属
	2	佐藤 弘信	無 所 属
	3	岡部 政一	無 所 属
	4	佐川 勇司	無 所 属
	5	関根 角男	無 所 属
	6	岡部 淳一	日本共産党
	7	高木 節男	無 所 属
	8	佐藤 一夫	無 所 属

古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	12 番 近内 光英	1. 診療所の契約の件 (答弁者：町 長)	(1) 町側は、どんな要求をしたのか。 (2) クリニック側の対応及び返答について (3) 今後の問題として将来を見据えたいかなる事態にも対応できる弾力的な契約書を作成すべきである。
2	1 番 佐藤 弘信	1. 木質バイオマスエネルギーの導入について (答弁者：町 長)	(1) バイオマスボイラー導入に対する基本的な考え方を伺います。 (2) 町民プールに木質バイオマスボイラーの導入が予算化され、1億5千万円計上されておりますが、その内訳は概算でどのような見積りになっているか伺います。 (3) ペレットボイラーとチップボイラーを比較すると、導入コストはペレットボイラーが安いと一般的に言われますが、機種選定にあたっての、検討内容を伺います。 (4) 町民プールに近接しておりますコスモス荘には、平成19年に灯油を燃料とするボイラーが設置されましたが、改修時期に合わせて町民プールの熱源を利用する計画で、ボイラーの規格を選定しているのか伺います。 (5) ボイラーの納入業者の選定にあたっては、どのような方法をとるのか伺います。 (6) 京都議定書の中で我が国は、温室効果ガスの排出量を1990年比で6%削減を義務付けされており、そのために排出量削減のための取り組みが進められております。主なものである国内クレジット制度あるいは、カーボンオフセット制度を利用して認証を受けるような検討を進めていく考えはあるか伺います。 (7) 将来的には、木質バイオマスエネルギーをどのような展開を目指すのか伺います。
3	4 番 岡部 政一	1. 大原小学校跡地の利活用について (答弁者：町 長)	(1) 跡地利用検討部会は、利用計画も地域住民に説明を十分図られたいとする答申であるが反映されていないのか。 (2) 大原小学校の橋の架け替えに総事業費2億円の投資は最良策なのか。 (3) 大原小学校の跡地は、なぜ、貯木場なのか、どのような運営になるのか、費用対効果はどうか。 (4) 大原小学校跡地にグランドゴルフ場や緊急災害時の避難場所としての確保などの要望があるがどのように考えるか。

順序	質問者	質問事項	要 旨
3	4 番 岡部 政一		(5) 説明会を開催して、地域住民に説明し話をする考えはないか。
		2. 介護について (答弁者：町 長)	(1) 介護制度の利用の周知、啓蒙の徹底はなされているのか。 (2) 在宅介護で悩んでいる家族や、一人暮らしの高齢者のためにも、地域密着型介護サービスを提供することはできないのか。 (3) 地域密着型サービスを提供すればどの位の基準額になるのか。 (4) 住み慣れた地域で暮らし続けたいサービス提供を考えているか。
		3. 地デジ対応テレビの難視聴対策は (答弁者：町 長)	(1) 現在の難視聴地域は、実際何箇所になるのか。 (2) 難視聴地域にどのような対策をしているのか、今後はどうなるのか。 (3) 難視聴対策に、町からの補助はどの位になるのか。今後続けるのか。
4	2 番 佐川 勇司	1. 竹パウダーの普及促進について (答弁者：町 長)	(1) 竹パウダーの力に対して、どのような見解か。 (2) チラシ等の普及促進の取り組みはされていると思うが、竹パウダーの力講座等の普及促進に向けた取り組みはどうか。 (3) 循環型竹パウダーで育てた、竹の子加工の町特産品づくりはどうか。 (4) 米粉と竹成分配合の特産食パンづくり開発と学校給食利用はどうか。
5	11 番 関根 角男	1. 小学校開校とスクールバス運行について (答弁者：教育長・町 長)	(1) 通学バスの安全対策について。 (2) 道路を横断するための対策について。 (3) スクールバスの座席の確保について。

順序	質問者	質問事項	要 旨
6	8 番 岡部 淳一	1. 難聴者対策について (答弁者：町 長)	(1) 現在まで進めてきた難聴者対策の具体的内容はどんなものか。 (2) 役場各窓口を含む各施設での対応で、難聴問題はあったか。 (3) 磁気ループシステムがクローズアップされているが、認識はあるか。 (4) 公共施設への磁気ループシステムの導入は。
		2. 生活道路改良・改善と今後の姿勢について (答弁者：町 長)	(1) 道路改良の到達点をどうみているのか。 (2) 22年度に発注した道路関連事業総件数、総事業費は。 (3) 23年度の事業計画と予算の推移はどうなる見通しか。 (4) 県道三株下市萱線の改良見通し、特に大原地内から不動滝に至る改良計画は。 (5) 県道三株下市萱線を含む県道改良を促進させるため、道路脇の立ち木伐採などで、より積極的に町が対処すべきと思うが見解は。
		3. 次年度主要事業の具体的内容と町の考え方について (答弁者：町 長)	(1) 日本再発見塾の取り組み状況、この再発見塾から何を学び、何を再発見し今後になかそうと考えているのか。 (2) 自殺対策事業の具体的内容は。 (3) 町産材利用支援事業の拡充に、なぜ関連業者支援は考えなかったのか。 (4) 大原小、橋架け替えによる事業実施の方向性は何か。 (5) 既成宅地防災工事助成の本質的意味合いは。 (6) 幼保一体化事業は、どんな形態の一体化を目指すのか。 (7) 学校跡地、廃校利用は基本的に委員会の答申を基にしたものなのか。
7	3 番 高木 節男	1. 歴史的地域産業をどの様に活かすのか (答弁者：町 長)	(1) 地理的条件を活かして、昔からこんにやく、葉たばこ、馬等が町の産業の柱として栄えて来ました。わが町の地理的条件と自然を活かした新たな産業の検討は。 (2) 全国に先駆けて緬羊を導入し、緬羊王国だったこともあったが、これらの活用計画の検討は。 (3) 先人の労苦の結晶である農地の遊休化が進む中で、解消対策の成果と今後の対応策は。

順序	質問者	質問事項	要 旨
8	6 番 佐藤 一夫	1. 平成 2 3 年度主要事業について (答弁者：町 長)	(1)越代のさくら周辺整備事業における土地購入の必要性和、今後の整備のあり方・観光資源としての位置づけは。 (2)流鏑馬保存の一環として実施している馬の確保について、現在までに投資された金額、飼育管理委託費の積算の根拠、保存会との関わり、さらに事業継続についての考えは。 (3)スクールバス運行の実施について、主要事業説明書には記載されていませんでした。この事業においては、向こう 5 年間、債務負担行為の議決を得たので、必要ないと判断か。 (4)統合後の廃校利用について、跡地利用検討部会が 1 2 月に答申した内容に基づき解体事業から着手する予定のようですが、方針決定の経過と住民への説明はどのようになされたのか。